

まだ名前もロゴもありません

地域に密着した新コミュニティ紙を創刊しました！

元天空新聞編集長が立ち上げます

突然ですが…
昨年9月より天空新聞は一般財団法人日本地域振興新聞社により2月までは単独紙として、3月は中央新聞の地域ページとして2万部を発行し皆様にお届けしておりました。
中央区新聞は佃・月島、勝どきや晴海そして築地銀座、日本橋を加えて、6万部を発行し、昨年8月以前に配布できなかったタワーマンションにも配布が始まりました。

三年半前 創刊の考えに戻ります

佃リバーシティ自治会の広報紙として5千部で始まった天空新聞でしたが、創刊趣旨は「佃・月島地域に密着したコミュニティ紙」でした。2万部に拡大することによる経費増は広告費で補うことしかなく佃・月島の記事スペースが減少してきたことも事実です。たびたび読者から「変わったね」との指摘も受けていました。
今後は佃・月島地区に絞って、創刊の趣旨を生かし、より地域活動としての性格を強めていこうと思えます。

3つの課題

記事・配布・経費
記事はボランティア読者記者の活躍もあり、掲載しきれないほどの記事量が確保できています。特に編集者など専門家の参加を得ています。配布は発行部数



が減少すれば、一人で配布でき、また自治会や町会の後援をいただく配布をお願いすることも可能となりました。経費は発行部数の減で印刷費が大幅に減ります。



ます。大きくすることでの人件費や事務所の必要もありません。また地域活動として行っていくからです。事業性を追求することもありません。非営利団体NPOとしての登録も視野にいれます。しかしいくらかの経費はかかります。

地域サポーターによるコミュニティ紙

まず読者記者や配布をサポートしていただく「ボランティアサポーター」、発行経費をサポートしていただく個人・企業「会員サポーター」、そして地域活動を理解していただける「企業」の最小限の広告で、このコミュニティ紙を運営していきます。

新しい名前・ロゴで

残念ながら権利の関係で親しんでいた「天空新聞」ロゴや名前は使用が制限されます。天空新聞の名前を替えて新しく発行運営していきたく思います。ただ中央区の地域活動として登録している「天空新聞制作委員会」の名で「R60中央プロジェクト」「R65月島カフェ」などの活動は継続していきます。

応援していただけるサポーター募集

幸いこの紙面上段に記載してある企業様のサポートを頂戴できました。また町会・自治会の後援もいただけました。当面は発行を継続できる資金的めどもつきました。

サポーター制度

地域のコミュニティ紙を皆さまの応援で運営していきます。
「ボランティアサポーター」取材記者・コラム担当・校正担当・イラストレーター・新聞配布・電子版担当・「三三三記憶の銀行」担当・R65月島カフェ運営ボランティア

「会員サポーター」
個人年会費 102千円
毎月確実に新聞を毎月お届けします。また編集後記などの特別メールマガジンがご覧になります。

企業年会費

102万円
一年に一回程度企業紹介記事を掲載します。



広告について

地域の企業様が気軽に情報を掲載できるようリーズナブルな値段を設定をいたします。企業様との公共性のあるイベント共催は原則無料と考えています。

まだ名前もロゴもありません

住んでいる方がこの地域を故郷「ふるさと」と思える街の実現の一助になれるコミュニティ紙を目指していきます。名前を何にしましょう。ここで編集長の名前案を「マイホームタウン新聞 佃・月島」小田和正のヒット曲名



読者記者木村さん案「つくつき新聞 佃月」早口言葉で言えませんが、ロゴはてんくう家族を連載中の本園さんにお願いしようと思えます。読者記者の方々と検討し早急に決定していきます。5月号をお楽しみにしてください。
今回の私たちの取り組みについての読者の皆様のご意見をぜひお聞かせください。

サポーターへの
お申込み・ご意見
お問合せは
TEL 070-5079-8815
info@tenku21.com

住吉例大祭スケジュール

金曜	午前	大祭式	
	夕刻	大旗掲揚	
	晩	参拝式	
土曜	午前	獅子頭宮出し ～宮神樂連合渡御～	
	晩	御霊遣し	
日曜	早朝	本社祭 ～宮神樂宮出し～	
	朝	稲鏡御出船 ～海上祭～	
	昼	宮神樂御旅所渡御奉納	
	午後	神樂御旅所着岸 ～時渡、勝どき、豊海 各町宮神樂渡御	
月曜	午前	勝どき、月島、新御 各町宮神樂渡御	
	午後	佃町内神樂渡御	
	晩	宮神樂宮入り 御霊遣し・帰社祭	

住吉講掲示板

佃掘に参部小屋があります。住吉講は、老部・武部・参部と連番で三年ごとに例大祭の仕切りを行います。今年も参部が当番担当です。そこに住吉講のチラシが張り出されています。これをみると例大祭・住吉講の情報がよくわかります。

8月3日金曜日から6日月曜日まで
一日目は宵宮と呼ばれる前夜祭です。夕刻には大幟旗が掲揚され、参拜式には住吉講をはじめ、連合隊も集合します。いよいよ4日間の例大祭が始まります。



晩に行われる「御霊遣し」は住吉神社の御霊を灯りを消した真暗の中、「宮神樂 八角神樂」に遷す神聖な行いです。

二百目 土曜日

住吉神社宮司様

こうした祭事を取り仕切るのが宮司様です。江戸時代正保三年(1646年)を起源とする住吉神社ですが現在の宮司様は13代目。八角神樂や獅子頭と同様に例大祭の大切な役割を担っています。裏方で支えるのは究極のボランティアの住吉講の方々です。どんな人たちなのでしょう。



住吉講の方々

当たり前ですが普通の方です。募集チラシには16・40歳ぐらい、主な活動は3年に一度の例大祭の準備から片付けまでなど諸行事のお手伝い。入講費一万円・浴衣代金ほかとなっています。最初は「新緑 しんべり」として若衆からスタートです。イメージでは築地市場の方が多いのかと思いましたが、それほどではないようです。でも取材協力の「大若衆」菊池さんは普段はこんなです。



その他、住吉神社内で行われる龍神祭(4月8日開催)やさくら祭り(4月7日8日開催)のお手伝いも住吉講の大切な行事です。こんな佃島を祭り愛する人たちに支えられて例大祭は着々と準備されているのです。

「街のナニコレ」 聖路加タワー 空中回廊

41号で聖路加タワーの空中回廊の記事を掲載しましたがその続編になります。聖路加タワーに勤めの読者Nさんからの情報です。
聖路加タワーの空中回廊、渡ってきました！ホテル棟の32階から渡れます。この階はレストランになっていて、宿泊していても自由に出入りできます。渡ると向こうにはオフィスがあるのですが、フロアに入るとちよっと面白いことがあります。(階が...！)
思わせぶりなNさんの情報です。これは編集長自ら行ってみるしかありません。次回聖路加タワー空中回廊 謎に迫るご期待ください！

散歩の途中に段差があつて、車椅子放浪記

「オストメイト、知ってますか？」
一般社団法人無段差社会理事長 相田忠男
朗報！日本橋人形町に車椅子対応の小さな割烹ができました。その名も「多良々(たらら)」。
「わずか10坪なのに、ユニバーサルデザイン対応。お見事、のアイデア満載です。」
まず、車椅子対応のインターフォン付き！インターフォンを押すと中から店員さんが出てきて、段差スロープを作ってくれます。入口はL字、そのうえ、段差は各10cmの高さが3段。パタパタとスロープをこしらえてくれます。
さらに、多目的トイレが付いた！店内はテーブル席とカウンター席で、中は「引き戸の多目的トイレ」。どうやって入るの？オーナーの富永一さん曰く、「カウンター席に声を掛けてトイレに入るスペースを確保すればいいんですよ。これなら至極簡単だ。早速、声を掛けるとカウンター席の人が「どうぞ、どうぞ」と立って席を空けてくれた。バックで切り返して楽々入れられました。バリアフリーだからといって車椅子だけが動けばいいというものではない。それぞれに声を掛け合って譲り合いの精神をすれば、「真のユニバーサルデザイン」が簡単にできるお手本です！



加えて、このトイレには「オストメイト」が付いています。オーナーの希望で導入したものの。オストメイトとは「オストミー(人工肛門)」の人のための専用トイレです。こんな小さなお店にあるって見たことないでしょう？この店のポイント。和十パー料理です。オーナーは老舗の日本料理「八重洲とよだ」の主人でもあり、この店は和食の姉妹店です。そこに幼少の頃に育ったペルーの味付けを加えて他の店にはないフレーバーを醸し出しています。刺身も美味しいが、アジフライも美味しい。その上、店舗の設えもディテールまで凝っていること。ランチタイムも営業しているの、OLさんなどで満席です。



街角植物観察日記 読者記者取材

この新聞が配布されているところは石川島・佃は桜満開のころかもいれませんが、佃二丁目Kさんの取材です。永代橋西詰南側に大きな桜が植えられています。種類はオオカシザクラです。ソメイヨシノにそっくりですが、咲く時期が、ソメイよりも約一ヶ月早い。

撮影時期は3月20日です。満開になるとスズメ、ヒヨドリ、メジロが蜜を吸いに目白押しです。花の中に蜜を差し込み、お行儀良く吸っているかと思えば、花の横から効率良く花をちぎって、蜜を吸うことを知ると、木の下は落ちた花でいっぱいになります。サクラはバラ科ですが、イチゴもバラ科です。姿形がこれ程違うの



に、同じ科とは思議ですね。

Kさんいつも記事をありがとうございます。永代橋際の桜は深川側にもあって、いつも早めに咲いていますし、気になっていました。ちょっと友達に自慢で話せます。

桜並木もいいですが一本桜もいいですね。

Kさん撮影の画像もうまいです。腕上げましたね。以前はガラ系カメラの画像でしたがこの記事のためにスマホ撮影に替えられたのですか？



春がやってきました。新しい出会い、新しい挑戦の季節。今年もKさんの日記は好評です。



この「てんくうかぞく」は(株)ハートベルカンパニーの提供で掲載しています。
中央区不動産物件情報を無料で差し上げます
 中央区日本橋蛸殻町1-5-1
 TEL03-6661-2828 HPは hbc22.com

シルバー山柳

シルバー山柳(中央)クラブの皆さんの作品です。今月の課題は「春」

きの忘れ ついに頭に春が来た

篠田

街中が風邪か花粉か皆マスク

えびす

参加ご希望の方は佃一丁目シニアセンターにお尋ねください。
 03-6561-7813

読者からの調査依頼

あの店はいますか？

月島一丁目の再開発がどんどん進んでいます。あの一角にあったお店を覚えていますか。店を移転して営業しているところもありますが...

月島一丁目に住む読者Sさんからの投稿です。



一丁目にあったフランス菓子 タンプルタンは私も大好きでした。喫茶店を何回か利用させていただきました。早速調査開始です。幸いにもネットに「タンプルタン Official website」が残っていました。そこには

R65月島カフェが移転しました

昨年5月から一年間西仲通りの「鶴ちゃん」で開催していましたが、4月19日より毎月第3木曜日午後2時、勝どき区民館一階「勝どきティールーム」で開催することになりました。

どなたでも参加できます。事前に「今月のR65 イベント案内」をお送りしますのでメールアドレス・携帯電話をご登録ください。
 TEL 070-5079-8815
 info@tsukutsuki.com

アイマークタワーに 行ってきました

創刊時からの読者であった安富さんには宛名投函の形で新聞をお届けしていただきました。管理組合の方針でポストインができませんでしたので...



住民の方の会「アイ・クラブ」主催のこんな企画は、地域の昔話が得意な編集長の独壇場です。安富さんからお声をかけたいただき、新聞ネタを披露することになりました。

京橋地域資料館の貴重な画像や月島図鑑、そして住宅地図を見ながら昭和の西仲通りを街巡りです。お年寄りの記憶を映像で残す「記憶の銀行」の映像も紹介させていただきました。月島生まれ月島育ちの住民の方々の貴重なお話も聞くことができました。コミュニティが創りづらいタワーマンションですが、こんな形から入居者の交流を深められたらいいですね。いつでも編集長をお呼びください。

佃月島住民示板

「売ります」「教えます」「教えて」「仲間探し」などを掲載していきます

掲示板への投稿は？

お電話やメールでお寄せください。営業関係以外は無料で掲載いたします。お気軽にお申込みください。掲載可否は編集局で判断させていただきます。

第34回わんぱく相撲 全国大会 中央区大会

わんぱく相撲は、小学4年生から6年生が参加し、日本国内20地区（主催青年会議所単位）の予選大会から決勝大会まで、東京・両国国技館で決勝大会が開かれる。小学生対象で最大規模の相撲大会です。中央区大会は、5月20日（日）午前8時50分から中央区立総合スポーツセンターで開催されます。入場は無料。




石川島公園運営協議会をご存知ですか

2年前から石川島公園の管理業務を中央区から受託しています。コイシャタワー佃自治会・佃二丁目自治会・佃二丁目5号棟自治会が共同して運営しています。毎週土曜日9時から登録会員が公園を巡回し清掃や安全管理を行っています。会員からは朝日を浴びて散歩しながら地域活動に参加でき、土手の四季折々の景色も楽しめる有意義だと。登録は各自治会にお問い合わせください。

月島長屋寄席
出演：柳亭市楽

2018年
4月22日(日)



月島の長屋で開催する小さな落語会「月島長屋寄席」はお陰様で第十回目を迎えます。今回も柳亭市楽師匠（落語協会会長）の総領弟子・柳亭市楽さん（二つ目）をお呼びします。

時間：13：30開場 14：00開演
場所：中央区月島1-21-5
定員：当日先着20名
※予約不要。当日直接会場へお越し下さい。
木戸銭（入場料）：千円
月島長屋寄席のブログ：ameblo.jp/moonisland7878/
お問い合わせ先：090-6112-2457（担当：サトウ）

女性の方やおひとり様大歓迎！
観初は入りにくいかも知れませんが、お気軽にどうぞ♪

2016年5月に開催され大好評を得た「R60ザ・ミュージカルよみがえる江戸湊」の続編が上演されます。中央区のサラリーマンを題材にした新脚本と新音楽・新演出で再演です。

4月23日月曜日
日本橋社会教育会館ホール
開場19時開演19時半
入場料無料 事前に編集局にお申込みください。席を確保いたします。



R60ザ・ミュージカル再演



月島・佃あたり
冬の鳥図鑑



こんな姿を楽しめるのは、湾岸地域住民の特権かなと思います。夏羽になったということは、渡りの準備が整った印。シベリアなどへ渡っていく彼らとは、晩秋まで、半年のお別れです。

次回はどうな鳥が... 藤田さん制作「冬の野鳥図鑑」をご希望の方に差し上げます。編集部までお申込みください。



佃二丁目野鳥図鑑

藤田明さんは毎年開催している「野鳥観察会」の運営メンバーです。新シリーズとして連載してまいります。

「ユリカモメ」
頭が真っ黒な鳥。これは、実は、夏羽のユリカモメです。何かおどけたような顔に見えますよね。

サポーター企業紹介 Cheers(株)中央区銀座

当新聞の編集局は銀座一丁目のCheers(株)内にあります。月田有香社長は若手女性経営者として活躍中、社会貢献活動の一環で地域コミュニケーション紙への援助を行っています。事業は中小企業から大企業、学校・労組・官公庁まで、「インプロ即興劇」を使ったユニークな社員教育研修で実績をあげています。

また中小企業向けの「人事労務コンサルタント」では東京都助成金を中心に丁寧なアドバイスで好評を得ています。地域の企業・商店で二人以上従業員を雇っていたらぜひご相談ください。相談は無料でお受けいたします。

Info@cheers-inc.co.jp
03-4399-0734

ボランティア 読者記者募集中

現在「中央区銭湯巡り」「中央区道路愛称マップ巡り」「車いすハザードマップ調査」「高層タワーマンシヨンの風景写真」など一緒に取材していただける方を募集しております。また企画もお寄せください。ご希望の方は編集部まで

